

沖縄産学官

イノベーションフォーラム 2011

— ライフイノベーションの創出にむけて —

Life innovation

Disaster prevention

Environment

Energy

Food

Health

参加無料

平成23年

12月16日(金) 10:00~17:00

沖縄県工業技術センター 2F 講堂 及び エントランスホール

主催：沖縄産学官連携推進協議会

幹事機関：国立大学法人琉球大学、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、社団法人沖縄県工業連合会

連絡先：琉球大学産学官連携推進機構（宮里、比嘉、玉城）

TEL：098(895)8597 FAX：098(895)8957 E-mail：daiya@lab.u-ryukyu.ac.jp

会場案内図



沖縄県工業技術センター
〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12-2
中城湾港新港地区トロボカルテクノパーク内

沖縄産学官 イノベーションフォーラム 2011

— ライフイノベーションの創出にむけて —

日時：平成 23 年 12 月 16 日(金) 10:00~17:00

場所：沖縄県工業技術センター 2F 講堂及びエントランスホール

趣 旨

企業の新商品、新サービス、新規事業の創出には、その原動力としてイノベーションに立脚した新しい技術等の活用が有効である。そのため、大学など高等研究機関や公設試験研究機関が生み出す研究成果やシーズ、更には知的財産の産業界への橋渡しは、大変重要な活動であり、それは産業振興の方向性を決定付ける重責も担っている。

沖縄県内に目を向けると、沖縄振興計画の後期展望において、県内の自立的な経済成長を実現し、県民生活の更なる向上を実現するため、地域特性を活かした比較優位性のあるオキナワ型産業の戦略的展望と新事業の創出を図ることとしている。そして、企業の研究開発や新商品開発、新サービスの開発を支援する為に、県内では国の関係機関、沖縄県、県の関連機関・団体、企業、大学等教育研究機関、公設試験研究機関等の産学官が密に連携し、実際に成果も生み出しつつある。

また、沖縄に世界トップクラスの教育及び研究拠点として、10月24日

に文部科学省が沖縄科学技術大学院大学の大学設置を認可し、政府は10月28日に沖縄科学技術大学院大学学園法を11月1日から施行すること等を定めた政令を閣議決定され、沖縄科学技術大学院大学が設立された。

一方で、3月11日に発生した東日本大震災を克服し前進するため、東北のみならずオール日本で、産学官連携を実施することが重要な鍵となっている。特に、防災、エネルギー、環境、健康、食等の生活に密着した新たなイノベーション（ライフイノベーション）の創出が必要とされており、産学官による成果への加速化がより一層求められると同時に、従来にないような新しい発想や取り組みが求められている。

本年度は、復興・再生を目指している、東北地域の活動事例の報告を行い、本県からもライフイノベーションに結びつく効果的な技術シーズや産学官連携の活動を議論することを目的とするフォーラムを開催する。

プログラム

挨拶【10:00~10:10】

- ・内閣府沖縄総合事務局経済産業部長 山内 徹
- ・琉球大学産学官連携推進機構長 山崎秀雄

1. 特別講演【10:10~11:10】

仙台市経済局産業創出部産学連携推進課 課長 宮田寛之氏

「仙台市の震災復興、再生に向けて」

仙台市では、本地域の強みである大学等の「知」の集積を活かした地域の製造業の活性化・高付加価値化、海外を含む外部活力の誘引による新産業の創出といった産学連携による産業振興・新産業の創出に取り組んでいる。

また、地域連携フェロー（仙台市で非常勤職員として迎えた大学教員）が御用聞きとして「何か困っていることはありませんか」と直接地元企業を訪問し、技術的な課題の発掘から開発に向けた助言・指導・共同開発を行っており、「敷居の低い産学連携」は仙台堀切川モデルとして平成23年度イノベーションコーディネータ文部科学大臣賞を受賞している。

一方で、東日本大震災の復旧・復興にいち早く取り組み、産学連携による「地域の住まい・生産の再構築」「省エネルギー・環境先進都市」「再生エネルギー産業育成」「藻類バイオマスプロジェクト」等に取り組んでいる。

2. 事例紹介①(防災)【11:10~11:50】

- ・琉球大学島嶼防災研究センターポスドク研究員 木村 匠氏
「亜熱帯島嶼地域に適した新素材アンカー」
- ・沖縄工業高等専門学校機械システム工学科 准教授 武村史朗氏
「環境保全のための水中ロボットの開発 ～震災後対応について考える～」

3. 国及び沖縄県の施策説明【13:00~13:40】

- ・内閣府総合事務局経済産業部地域経済課
「平成23年度補正予算 震災復興技術イノベーション創出実証研究事業等の概要説明」
- ・沖縄県商工労働部新産業振興課
「沖縄県の研究開発関連支援事業の概要説明」

4. 事例紹介②(環境)【13:40~14:20】

- ・マリンコムズ琉球 取締役技師長 上間英樹氏
「観光から防災関連まで応用可能な水中可視光の研究開発」
- ・琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学施設環境生命情報分野 松井 徹氏
「琉球大学におけるバイオレメディエーションの研究開発（石油分解土壌細菌活用の可能性）」

5. 事例紹介③(健康・食)【14:20~15:10】

- ・琉球大学農学部亜熱帯地域農学科植物生産科学分野 植物育種学 教授 本村恵二氏
「沖縄の稲作その他有用植物の可能性」
- ・沖縄県工業技術センター
「リュウキュウマツ樹皮抽出物中のポリフェノールの単離・同定及び各種機能性試験」「植物から分離したアルカリ耐性微生物によるL-乳酸の生産」

6. 事例紹介④(エネルギー)【15:10~15:50】

- ・沖縄科学技術大学院大学 准教授 ヤビン・チー (Yabing Qi) 氏
「太陽電池研究の表面科学的アプローチ」
- ・名城大学人間健康学部 教授、総合研究所 所長 小川寿美子氏
「自然エネルギーを利用した調理のススメ」

7. 沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク 発酵食品ワーキンググループ【15:50~17:00】

- ・沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク及び発酵食品ワーキンググループの概要説明
- ・宮島醤油株式会社基礎研究室
(元(独)酒類総合研究所醸造技術基盤研究部門 部門長) 三上重明氏
「発酵食品の基盤技術と商品開発」
- ・南島酒販株式会社 代表取締役社長 出口 尚氏
「泡盛を含む酒類の市場動向と今後」

8. 事例紹介及び技術シーズ 展示コーナー【10:00~17:00】

1階エントランスホール

-----キトリ線-----

沖縄産学官イノベーションフォーラム参加申込書

お電話、E-mail、FAXにてお申し込み頂けますようお願い申し上げます。

FAXでのお申込み	FAX: 098(895)8957	E-mailでのお申込み	E-mail: daiya@lab.u-ryukyu.ac.jp
-----------	-------------------	--------------	----------------------------------

所属機関	氏名	連絡先
所属部・役職		

お問い合わせ先：琉球大学産学官連携推進機構(担当：宮里、比嘉、玉城) TEL: 098(895)8597